

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 3 - 7)

件名	せん断機におけるせん断刃ホルダトオリローラの緩み	
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 前処理建屋: せん断機</p> <p>(2) 発生の状況 せん断機の運転中</p> <p>(3) 概要 せん断刃ホルダトオリのローラ(車輪)の緩みによる、せん断刃ホルダトオリの作動不良</p>	
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 前処理建屋せん断処理・溶解廃ガス処理設備及び前処理建屋換気設備稼働しているせん断機内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 せん断刃ホルダトオリの作動不良により、せん断を停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 ローラの交換等の作業は、セル外からの遠隔作業なので、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 下流の工程の運転に影響が生じる。 せん断が停止することにより、前処理建屋内の溶解槽以降の工程の運転に影響が生じる。さらに下流の分離建屋以降の工程は、前処理建屋と分離建屋の間に設置されている一時的な貯留槽(計量後中間貯槽)の残液量で運転継続の可否を判断する。</p>	
対応の概要	<p>(1) せん断刃ホルダトオリが作動不良となったせん断機を停止する。</p> <p>(2) せん断刃ホルダトオリのローラの緩みの原因を調査し、予備品との交換の必要を判断して、交換が必要な場合は保守作業手順に従って交換を行い、定められた手順に従い運転を再開する。</p>	
公表区分	翌平日に公表(ホームページへ掲載)	
対応区分	<p>(a) 運転継続しながら復旧</p> <p>(b) 運転システムを切り替えて復旧</p> <p>(c) 当該機器を停止して復旧</p> <p>(d) 当該設備を停止して復旧</p> <p>(e) 影響範囲の設備を停止</p>	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <p style="text-align: center;">0以下 1 2 3 4 5 6 7</p> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない)</p> <p>放射性物質の外部放出 工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: レベル0以下</p> <p>放射性物質による汚染 被ばく等 工場内への影響</p> <p>運転時限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化</p>

